

平成 30 年 2 月 26 日

各 位

会社名 国際石油開発帝石株式会社
代表者名 代表取締役社長 北村 俊昭
(コード番号 1605 東証第一部)
問合せ先 広報・IR エグゼクティブ・マネージャー 細野 宗宏
電話番号 03-5572-0233

アラブ首長国連邦アブダビ
下部ザクム油田の権益取得及び
サター油田・ウムアダルク油田の権益期限の延長について

国際石油開発帝石株式会社（以下、当社）は、子会社のJODCO Lower Zakum Limited社を通じて、この度、アラブ首長国連邦アブダビ首長国（以下、同国）沖合に位置する下部ザクム油田において、10%の権益比率で本年3月9日から2058年3月8日までの40年間の利権を取得することについて、契約をアブダビ首長国最高石油評議会（以下、SPC）及びアブダビ国営石油会社（以下、ADNOC）と締結いたしました。

また、当社が子会社のジャパン石油開発株式会社を通じて、ADNOCとともに原油生産事業を行っている同国沖合のサター油田及びウムアダルク油田において、当社は昨年の権益期限の延長に関する基本合意^(*)に基づき、ウムアダルク油田の権益28%を追加取得し、いずれも40%の権益比率で権益期限を現行の本年3月8日から2043年3月8日まで25年間延長することについてSPC及びADNOCと契約を締結いたしましたので、お知らせいたします。

^(*) 2017年1月16日付で公表 <http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2017/20170116.pdf>

それぞれの油田の操業は ADNOC Offshore 社より行われます。

本件は、昨年当社が公表した同国沖合の上部ザクム油田の生産能力の引き上げ及び 2014 年における更なる権益期限の延長^(*)に続き、当社と同国との更なる関係深化を象徴するものと考えております。

^(*) 2017年11月14日付で公表 <http://www.inpex.co.jp/news/pdf/2017/20171114.pdf>

下部ザクム油田は、1963年にアブダビ市北西約80キロメートルの沖合にて発見され、1967年に原油の生産を開始しました。日量約45万バレルの原油生産を目標とする、同国沖合のADMA鉞区で最大の油田です。

また、ウムアダルク油田は、1969年にアブダビ市北西約25キロメートルの沖合にて発見され、

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

1985年に原油の生産を開始しました。サター油田は、1975年にアブダビ市北西約200キロメートルの沖合にて発見され、1987年に原油の生産を開始しました。サター油田及びウムアダルク油田については、当社は、ADNOCの唯一のパートナーとして、ADNOC Offshore社とともに両油田合計で日量4.5万バレルへの生産能力の増強に向けて開発・生産作業を着実に進めていく所存です。

当社が長年にわたり権益を保有してきた同国沖合のADMA鉦区及びアブアルブクーシュ油田は本年3月8日に権益期限を迎えますが、この度の下部ザクム油田の権益取得及びサター油田・ウムアダルク油田の権益延長により、上部ザクム油田の日量約70万バレルから日量75万バレル、更には日量100万バレルへの生産能力の増強、2015年に権益を取得した同国陸上のADCO鉦区の日量約160万バレルから2018年末までの日量180万バレルの生産能力の増強とあわせて、当社の同国における生産量は中長期的に拡大していく見込みです。当社の同国における生産量の拡大は、当社が中長期ビジョンに掲げる上流事業の持続的拡大に大きく寄与するとともに、我が国へのエネルギー安定供給にも大きく貢献するものと考えております。

この度の下部ザクム油田の権益取得及びサター油田・ウムアダルク油田の権益延長は、当社の同国における40年以上にわたる事業展開や様々な分野での社会貢献活動の実績・貢献が同国から評価されたものであるとともに、同国と日本の良好な関係及び日本政府の同国に対する積極的な資源外交が評価されたものと考えております。当社は、同国を当社のコアエリアの一つと位置づけ、引き続き、同国における石油の開発・生産事業及び社会貢献活動に積極的に取り組み、同国と日本の良好な関係の維持・発展に努めてまいり所存です。

なお、本件による当社連結業績への影響は下記の参考情報②をご覧ください。

以上

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

<参考情報①>2018年3月9日以降、当社がアラブ首長国連邦アブダビにて保有する権益一覧

下部ザクム油田の概要

油田位置	アラブ首長国連邦アブダビ市北西約 80 キロメートル
参加権益比率	JODCO Lower Zakum Limited 社（当社 100%出資子会社） 10% ADNOC 60%（今後、20%の権益譲渡を予定） インド企業 3 社のコンソーシアム 10%
目標生産能力	日量約 45 万バレル
権益期限	2058 年 3 月 8 日

ウムアダルク油田の概要

油田位置	アラブ首長国連邦アブダビ市北西約 25 キロメートル
参加権益比率	ジャパン石油開発株式会社（当社 100%出資子会社） 40% ADNOC 60%
目標生産能力	日量約 2 万バレル
権益期限	2043 年 3 月 8 日

サター油田の概要

油田位置	アラブ首長国連邦アブダビ市北西約 200 キロメートル
参加権益比率	ジャパン石油開発株式会社（当社 100%出資子会社） 40% ADNOC 60%
目標生産能力	日量約 2.5 万バレル
権益期限	2043 年 3 月 8 日

上部ザクム油田の概要

油田位置	アラブ首長国連邦アブダビ市北西約 80 キロメートル
参加権益比率	ジャパン石油開発株式会社（当社 100%出資子会社） 12% ADNOC 60% ExxonMobil 28%
目標生産能力	日量約 100 万バレル（2024 年）
権益期限	2051 年 12 月 31 日

ADCO 陸上鉦区の概要

油田位置	アラブ首長国連邦アブダビ市の南西に広がる砂漠・浅海地帯域
参加権益比率	ADNOC 60% TOTAL 10%

国際石油開発帝石株式会社

INPEX CORPORATION

	BP 10% CNPC 8% JODCO Onshore Limited 社（当社 51%出資子会社） 5% CEFC 4% GS Energy 3%
目標生産能力	日量約 180 万バレル（2018 年末）
権益期限	2054 年 12 月 31 日

<参考情報②> 当社連結業績への影響

2018年3月期：下部ザクム油田の権益取得及びサター油田・ウムアダルク油田の権益延長による影響は軽微です。

2019年3月期：今般の権益取得及び権益延長による影響を含め、当社アブダビ保有権益全体の利益水準^{※1}は、2017年3月期実績^{※2}を上回る見通しです。当該影響を織り込んだ2019年3月期の連結業績予想は、決算発表時に公表する予定です。

※1 通年平均で油価（ブレント）1バレル60米ドル、為替レート1米ドル110円前提

※2 直近で比較可能な通期実績。

なお、上記見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績への影響は、原油価格、生産・販売計画、プロジェクト開発スケジュール、政府規制、財務・税制条件等の変化により、上記見通しと異なる場合があります。